

令和4年度 保健予防事業実施状況

資料2

① 健康増進事業

(1) 健康教育

生活習慣病の予防等、健康に関する正しい知識の普及を図り、健康の保持増進に資することを目的に、保健センター等において、医師・保健師・栄養士・健康運動指導士等が講師となり実施している。

区分 年度	一般健康教育、校区别、病態別、骨粗しょう症、健康教育等	
	回数(回)	参加延人数(人)
R2	37	947
R3	33	1,245
R4	43	1,382

※子宮・乳がん検診、骨粗しょう症検診時の集団指導が検診定員数制限により減少

(2) 健康相談

保健センターや校区健康教室時において、保健師・看護師・栄養士等が生活習慣病予防などについての一般相談に応じるほか、血圧・体脂肪・腹囲測定、検尿等を実施している。

区分 年度	回数(回)	参加延人員(人)
R2	16	326
R3	12	312
R4	14	345

※骨粗しょう症検診時の個別指導が検診定員数制限により減少

(3) 健康診査・がん検診

種別	区分	対象者	実施時期	場 所
さわやか健診		35歳以上 39歳以下	5月～2月	①委託医療機関(33か所)
ハツラツ健診		40歳以上で生活保護受給者等で健康保険未加入のかたなど		①委託医療機関(31か所)
胃がん検診		40歳以上	保健センター:5月～3月 委託医療機関:5月～2月	①保健センター ②山手地区公民館
肺がん検診		40歳以上		①保健センター ②山手地区公民館 ③市立貝塚病院
子宮がん検診		20歳以上の偶数年齢の女性	通年	①保健センター ②山手地区公民館 ③委託医療機関(15か所)
乳がん検診		30～39歳、40歳以上の偶数年齢の女性	通年	①保健センター ②山手地区公民館 (40歳以上のみ) ③委託医療機関(8か所)
大腸がん検診		40歳以上	保健センター:5月～3月 委託医療機関:5月～2月	①保健センター ②山手地区公民館 ③委託医療機関(34か所)
結核検診		40歳以上		①保健センター ②山手地区公民館 ③委託医療機関(27か所)
歯科健康診査		妊婦、40歳以上	5月～2月	①委託歯科医療機関(31か所)
骨粗しょう症検診		30歳以上	5月～3月	①保健センター
肝炎ウイルス検査		40歳以上	5月～2月	①委託医療機関(34か所)

※対象者は、すべて貝塚市民で年齢は受診日当日のもの。ただし、肝炎ウイルス検診は当該年度に40歳となるかたを含む。

健康診査

①さわやか健診・ハツラツ健診

(人)

区分 年度	対象人員 A	受診者 数 B		受診率 (%)	内臓脂肪症候群			計 E (C+D)	E/B(%)
		さわやか	ハツラツ		非該当者	予備群 C	該当者 D		
R2	485	さわやか	23	4.7	19	1	3	4	17.4
	1,229	ハツラツ	28	2.3	13	5	10	15	53.6
	1,714	合計	51	3.0	32	6	13	19	37.3
R3	1,345	さわやか	27	2.0	24	1	2	3	11.1
	1,491	ハツラツ	25	1.6	14	3	8	11	44.0
	2,836	合計	52	1.8	28	4	10	14	26.9
R4	1,264	さわやか	24	1.9	20	2	2	4	16.7
	1,214	ハツラツ	21	1.7	11	7	3	10	47.6
	2,478	合計	45	1.8	31	9	5	14	31.1

《有所見者(要指導・要医療者)の検査結果》

(人)

区分 年度	高血圧 境界域	高血圧	心電図 異常有	脂質異常	貧血 (疑い含)	肝疾患 (疑い含)	糖尿病 (疑い含)	腎機能障 害(疑い 含)
R2	5	19	3	24	2	19	17	1
R3	9	14	1	15	0	11	14	1
R4	1	14	6	16	0	9	18	6

がん検診

◆対象人員は厚生労働省の通知によりH28年度から対象年齢の全住民に変更になった。対象者は胃がん、肺がん、大腸がん検診は40歳以上の男女、乳がん検診が40歳以上、子宮がん検診が20歳以上の女性となっている。

②胃がん検診

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数	受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果		
				要精検数	要精検率(%)			がん疑	がん	計
R2	52,384	715	1.4	70	9.8	66	94.3	0	2	2
R3	52,291	815	1.6	52	6.4	46	88.5	0	2	2
R4	52,133	955	1.8	63	6.6	56	88.9	0	1	1

③肺がん検診

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数	受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果		
				要精検数	要精検率(%)			がん疑	がん	計
R2	52,384	987	1.9	54	5.5	51	94.4	0	0	0
R3	52,291	1,185	2.3	51	4.3	49	96.1	1	0	1
R4	52,133	1,395	2.7	89	6.4	79	88.8	3	1	4

国の指針では、E判定(肺がんの疑い)のみを要精密検査としているが、大阪では結核罹患者がいまだに多いこと、肺気腫やCOPD(閉塞性肺疾患)の罹患率が高いため、D判定(肺がん以外の疾患の疑い)も要精密検査に含めている。

④子宮がん検診

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数		受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果			
					要精検数	要精検率(%)			高度 異形成	がん疑 (未確定)	がん	計
R2	36,569	頸部	2623	14.4	68	2.6	64	94.1	5	21	0	26
		体部	78	0.4	4	5.1	3	75.0	0	0	1	1
R3	36,239	頸部	2902	14.8	58	2.0	54	93.1	3	21	3	27
		体部	77	0.4	2	2.6	1	50.0	0	0	0	0
R4	35,986	頸部	2848	15.6	47	1.7	44	93.6	3	18	2	23
		体部	69	0.4	0	0.0	0	0	0	0	0	0

受診率＝[(前年度の受診者数)＋(当該年度の受診者数)－(前年度及び当該年度における2年連続受診者数)]÷当該年度の対象者数×100

④の子宮がん検診のうち、無料クーポン検診分(頸部のみ)

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数		受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果			
					要精検数	要精検率(%)			高度 異形成	がん疑 (未確定)	がん	計
R2	525	56	10.7	3	5.4	2	66.7	0	1	0	1	
R3	467	52	11.1	3	5.8	3	100.0	0	1	0	1	
R4	470	33	7.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	

⑤乳がん検診

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数		受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果		
					要精検数	要精検率(%)			がん疑	がん	計
R2	30～39歳(超音波)	130	3.0	1	0.8	1	100.0	0	0	0	
	4,343										
R3	40歳以上(マンモグラフィ)	1,965	14.6	100	5.1	99	99.0	0	5	5	
	27,981										
R3	30～39歳(超音波)	125	3.0	1	0.8	1	100.0	0	0	0	
	4,198										
R4	40歳以上(マンモグラフィ)	2,168	14.3	113	5.2	113	100.0	0	6	6	
	27,917										
R4	30～39歳(超音波)	117	2.9	1	0.9	1	100.0	0	0	0	
	4,031										
R4	40歳以上(マンモグラフィ)	2,136	15.0	132	6.2	132	100.0	0	8	8	
	27,838										

受診率＝[(前年度の受診者数)＋(当該年度の受診者数)－(前年度及び当該年度における2年連続受診者数)]÷当該年度の対象者数×100

⑤の乳がん検診のうち、無料クーポン検診分

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数		受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果		
					要精検数	要精検率(%)			がん疑	がん	計
R2	542	121	22.3	17	14.0	17	100.0	0	0	0	
R3	489	126	25.8	12	9.5	12	100.0	0	1	1	
R4	432	118	27.3	13	11.0	13	100.0	0	1	1	

⑥大腸がん検診

(人)

区分 年度	対象人員	受診者数	受診率 (%)	検査結果		精検受 診者数	精検 受診率(%)	精密検査結果		
				要精検数	要精検率(%)			がん疑	がん	計
R2	52,384	3,876	7.4	305	7.9	270	88.5	0	14	14
R3	52,291	4,139	7.9	297	7.2	259	87.2	0	17	17
R4	52,133	4,631	8.9	325	7.0	287	88.3	0	15	15

⑦結核検診

(人)

区分 年度	場所	受診者数	受診者数合計	精密検査結果			
				結核	がん疑	がん	計
R2	保健センター等	796	4,965	0	/	/	/
	医療機関	4,169		0	4	4	8
R3	保健センター等	923	5,115	0	/	/	/
	医療機関	4,192		0	6	5	11
R4	保健センター等	1,189	5,712	0	/	/	/
	医療機関	4,523		0	1	9	10

⑧歯科健康診査

(人)

区分 年度	受診者数		結 果		
	妊婦	40歳以上	異常なし	要指導	要医療
R2	64	172	23	38	174
R3	86	183	21	42	206
R4	77	193	21	57	192

⑨骨粗しょう症検診

区分 年度	実施回数(回)	受診者数(人)	要精検(人)
R2	6	242	63
R3	6	258	60
R4	8	324	62

要精検＝骨密度の若年成人平均値に対する割合が80%未満の人

⑩肝炎ウイルス検査

区分 年度		受診者数(人)	陽性者数(人)	陽性率(%)
R2	C型	153	0	0.0
	B型	153	0	0.0
R3	C型	132	1	0.0
	B型	132	1	0.0
R4	C型	117	0	0.8
	B型	117	0	0.8

② 母子保健事業

【乳幼児健康診査等】

① 4か月児健診

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	健診結果			
					異常なし	要経過観察	要精検	要治療
R2	20	516	510	98.8	258	236	5	11
R3	20	477	458	96.0	253	178	8	19
R4	20	487	479	98.4	247	232	5	17

※R2年度、緊急事態宣言に伴い、1回開催を中止した。※R3年度は出生数減少を受け、20回に回数を減らす。

② 1歳7か月児健診

ア.一般健康診査

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	健診結果			
					異常なし	要経過観察	要精検	要治療
R2	19	595	574	96.5	263	303	2	6
R3	21	489	481	98.4	240	232	2	7
R4	20	470	452	96.2	182	270	3	1

※R2年度、緊急事態宣言に伴い、2回開催を中止した。

イ.歯科健康診査

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	むし歯 本数	むし歯		一人当たりむし歯本数	
						保有者数	保有率(%)	対受診者	保有者平均
R2	19	595	574	96.5	18	5	0.9	0.00	3.6
R3	21	489	481	98.4	11	8	1.7	0.00	1.4
R4	20	470	452	96.2	1	1	0.2	0.00	1.0

(参考)R3年度大阪府歯科統計より、府平均0.9%

③ 2歳6か月児歯科健診

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	むし歯 本数	むし歯		一人当たりむし歯本数	
						保有者数	保有率(%)	対受診者	保有者平均
R2	12	665	589	88.6	72	22	3.7	0.1	3.3
R3	10	652	566	86.8	74	26	4.6	0.1	2.8
R4	12	512	457	89.3	35	15	3.3	0.1	2.3

※R2年度、緊急事態宣言に伴い、2回開催を中止した。(参考)R3年度大阪府歯科統計より、府平均3.7%

④ 3歳6か月児健診

ア.一般健康診査

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	健診結果			
					異常なし	要経過観察	要精検	要治療
R2	16	651	639	98.2	437	196	5(注)	1
R3	21	626	594	94.9	384	205	2	3
R4	21	547	534	97.6	504	12	6	12

※R2年度、緊急事態宣言等に伴い、3回開催を中止した。

※R3年度より、1回の健診における対象者を減らし、会場内の密を避けるため、21回に回数を増やす。

(注)R2年度より国の指針の改正により視聴覚検査の要精検を除外。

イ. 歯科健康診査

区分 年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	むし歯 本数	むし歯		一人当たりむし歯本数 (人)	
						保有者数	保有率(%)	対受診者	保有者平均
R2	16	651	638	98.0	247	82	12.9	0.4	3.0
R3	21	626	592	94.6	166	73	12.3	0.3	2.3
R4	21	547	521	95.2	200	55	10.6	0.4	3.6

※R4年度、歯科医師の体調不良により、歯科のみ後日案内した回が1回あり。 (参考) R3年度大阪府歯科統計より、府平均11.6%

*乳幼児健診における未受診時対応として、健診受診案内文書に「連絡がない場合は大阪府のガイドラインに基づき、家庭訪問などによりお子様の様子をお伺いさせていただきます」と明記し、子どもの姿を確認することを原則としています。確認できない場合は、すみやかに、虐待対応課でもある子ども福祉課と検討会議を行い、対応しています。

⑤ すこやか(経過観察)健診

区分 年度	実施回数	受診者数			健診結果 (人)			
		乳児	幼児	計	異常なし	経過観察	要精検	要治療
R2	12	104	161	265	59	206	0	0
R3	12	135	138	273	67	204	2	0
R4	12	93	193	286	65	219	2	0

⑥ 発達相談

区分 年度	実施回数	利用者数(延)	(人)
R2	161	177	
R3	155	191	
R4	175	186	

⑦ 言語聴覚士によることばの相談

区分 年度	実施回数	利用者数(延)	(人)
R2	5	20	
R3	5	20	
R4	5	15	

【乳幼児健康診査 - 個別健診 (医療機関委託)】

① 妊婦・乳児一般健康診査・乳児後期健診

(人)

区分 年度	妊婦一般				乳児一般			乳児後期			新生児聴覚検査		
	受診者数	異常なし	要フォロー者	HBs抗原陽性者	受診者数	異常なし	要フォロー児	受診者数	異常なし	要フォロー児	受診者数	異常なし	要フォロー児
R2	延べ 5,909	延べ 5,387	522 9.0%	0	461	407	54 12.0%	473	252	236 50.0%	/	/	/
R3	延べ 5,999	延べ 5,636	363 6.1%	0	445	395	50 11.2%	405	348	152 37.5%	448	444	4
R4	延べ 5,463	延べ 4,920	543 9.9%	0	454	404	50 11.0%	445	234	211 47.4%	472	468	4

※ 妊婦1人当たりの公費助成金額：116,840円(14回分) 多胎妊婦には、31,800円増額

R3年度より、新生児聴覚検査の公費助成を開始(ABR:5,000円、OAE:1,500円のいずれか)

②乳幼児精密健康診査

年度	区分	紹介状 発行数	受診者数	異常なし	異常あり		
					要指導	要経親	要治療
R2	乳児	10	10	2	0	4	4
	幼児	8	5	2	0	0	3
R3	乳児	15	15	2	1	5	7
	幼児	4	4	1	0	3	0
R4	乳児	11	10	2	0	3	5
	幼児	13	8	3	0	5	0

(人)

【健康教室・相談事業】

①ママパパ教室

年度	区分	コース数	実施回数 (1コース2回)	参加延人員		
				母親	父親等	計
R2		3	6	30	14	44
R3		4	8	40	31	71
R4		4	8	47	38	85

(人)

※R2年度、緊急事態宣言等に伴い、1コース開催を中止した。

※R2年度より感染症対策として定員数を1コース15組から8組に縮小した。

②赤ちゃんの歯の相談

年度	区分	実施回数	相談数
R1		12	44
R2		12	52
R3		12	76

(人)

※R2年度より、新型コロナ感染拡大防止のため教室開催を中止し、個別対応とした。

③離乳食講習会

年度	区分	実施回数	受講実人員			
			母親	父親	その他	
R2		15	86	3	0	89
R3		16	63	7	0	70
R4		17	94	4	0	98

(人)

※新型コロナ感染拡大防止のためにより、R2年度は3回、R3年度は2回、R4年度は1回開催を中止した。

※R2年度より定員を10組/回に縮小し実施した。

④幼児食講座

年度	区分	実施回数	受講延人員
R2		3	26
R3		3	23
R4		6	49

(人)

※R2年度、R3年度と、新型コロナ感染拡大防止のため3回開催を中止した。

※R2年度より定員を10組/回に縮小し実施した。

⑤キッズキッチン

年度	区分	実施回数	受講実人員
R2		0	0
R3		0	0
R4		4	45

(人)

※R2年度、R3年度と新型コロナ感染拡大防止のため開催を中止した。

⑥乳幼児健康相談(赤ちゃん相談)

年度	区分	実施回数	参加児数	月平均参加者数	(人)
R3	12	302	25		
R4	12	366	31		

※R2年度より感染症対策のため完全予約制とした。

⑦スキンケア講習会

年度	区分	実施回数	受講人員		計	(人)
			保護者	児		
R2	2	16	15	31		
R3	2	18	17	35		
R4	2	14	13	27		

※R2年度より定員を10組に縮小した。

【妊娠届出】

ハイリスク妊婦を早期に把握するため、妊娠届出および母子健康手帳交付時には、保健師等、専門職が、全員に面接を行っている。

年度	区分	届出数	(人)
R2		496	
R3		491	
R4		412	

【出産・子育て応援給付金】

令和4年4月1日以降に出生した児を養育する者と、令和5年2月1日以降に妊娠届を出した妊婦に対し、面談や訪問を受けた後に給付金を支給する。

年度	区分	出産準備ギフト	子育て応援ギフト	(人)
R4		648	401	

【すくすくママ(妊婦)訪問・すくすくベビー訪問】

妊娠期から子育て期にかけて切れ目のない支援を行うため、平成28年度より、すくすく訪問ルームの看護職による妊産婦全戸訪問事業を実施している。

年度	区分	ママ(妊婦)訪問	ベビー訪問	(人)
R2		389	389	
R3		392	405	
R4		331	451	

※すくすく訪問ルームはR2年4月に子育て支援課から健康推進課に移管。

※R4年7月より、大阪府助産師会へ委託。

※地区担当保健師訪問、未熟児訪問は訪問件数に含まれず。

【母子訪問・養育支援訪問】

妊娠期からの継続的な支援を要する家庭(特に子育てに対して強い不安や孤立感を抱える家庭・また虐待のリスクを抱える家庭などを対象)に訪問している。これらの継続訪問により、子育て不安を軽減し、虐待予防に努めている。新型コロナウイルス感染流行に伴い、訪問に抵抗がある場合、感染対策について丁寧に説明し、保護者に安心して受け入れていただくよう工夫して実施している。

年度	区分	妊産婦		新生児		乳児		幼児		合計		(人)
		実人員	延人員									
R2	保健師	36	51	18	21	48	67	8	11	110	150	
	助産師等	60	62	10	12	49	51	0	0	119	125	
	計	96	113	28	33	97	118	8	11	229	275	
R3	保健師	27	32	5	5	25	35	14	32	71	104	
	助産師等	47	48	6	6	41	42	0	0	94	96	
	計	74	80	11	11	66	77	14	32	165	200	
R4	保健師	49	61	16	18	38	44	25	35	128	158	
	助産師等	38	38	3	3	37	37	2	2	80	80	
	計	87	99	19	21	75	81	27	37	208	238	

【こんにちは赤ちゃん事業】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭に民生委員・児童委員、主任児童委員などが訪問し、家庭の状況を把握するとともに、絵本や子育て情報等を届けている。地域社会と家庭がつながる最初の機会づくりとなり、孤立化や虐待の防止につながる効果があると考えられる。

年度	区分	実施数	(人)
R2		441	
R3		413	
R4		419	

【特定不妊治療助成】

特定不妊治療を受けているかたに、保険外診療に要した治療費のうち、府の助成金を控除した自己負担額の一部を、一年度あたり8万円を限度に助成する。

年度 \ 区分	助成者数	(人)
R2	50	
R3	63	
R4	24	

【不育症治療助成】

不育症(2回以上の流産、死産又は生後1週間以内の早期新生児死亡の既往)のため、子を持つことが困難な夫婦に対し、不育症治療に要する費用の一部を、一年度あたり5万円を限度に助成する。

年度 \ 区分	助成者数	(人)
R2	0	
R3	0	
R4	0	

【産後ケア事業】

令和3年10月より、産後の心身の不調や育児に不安のあるかたに対し、母子の健康を守り、児の健やかな成長を支援するため、産科医療機関等において、心身のケアや育児相談を行う。宿泊型(ショートステイ)とデイサービスがある。

年度 \ 区分	ショートステイ		デイサービス		(人)
	実人数	延人数	実人数	延人数	
R3	0	0	0	0	
R4	11	16	3	3	

③ 予防接種事業

(1) 乳幼児及び学童期予防接種

年度	区分	ロタウイルス (初回)	B型肝炎(初回) *1	ヒブ (初回) *1	小児用 肺炎球菌 (初回) *1	四種 混合 (初回) *1	B C G *1	水痘(初回)	麻疹・風しん混 合(1期)	麻疹・風しん混 合(2期)	日本脳炎 1期 (初回) *1・2	日本脳炎 2期 *1・2	二種混合 2期	ヒトヒトローマウイ ル 入 感染症(HPV) (初回) *3
R2	予定者数	235	470	470	470	487	503	562	562	687	632	810	882	859
	接種者数	224	484	492	491	509	509	550	543	655	702	854	664	37
	接種率	95.3%	103.0%	104.7%	104.5%	104.5%	101.2%	97.9%	96.6%	95.3%	111.1%	105.4%	75.3%	4.3%
R3	予定者数	479	479	479	479	465	472	501	501	700	565	792	791	408
	接種者数	460	462	467	467	455	443	441	443	645	448	354	462	55
	接種率	96.0%	96.5%	97.5%	97.5%	97.8%	93.9%	88.0%	88.4%	92.1%	79.3%	44.7%	58.4%	13.5%
R4	予定者数	489	489	489	489	501	507	468	468	645	543	781	810	389
	接種者数	447	460	462	461	467	484	447	437	565	612	1162	574	347
	接種率	91.4%	94.1%	94.5%	94.3%	93.2%	95.5%	95.5%	93.4%	87.6%	112.7%	148.8%	70.9%	89.2%

*1 接種者数が予定者数を超える理由について、予定者数は標準的な接種期間をもとに計上しているが、接種の対象となる期間は標準的な接種期間より長い
ため、前年度の接種予定者が接種対象期間中に年度をこえて接種することがあるため。

*2 令和3年から令和4年夏ごろまで、日本脳炎ワクチンが全国的に不足。令和3年度日本脳炎2期の対象である小学4年生に対して、個別通知を令和4年度に延
期し、初回未接種者や接種期限が迫っている者を優先して接種した。

*3 H25.6月～令和3年度までは接種後の副反応が問題となったことから、積極的勧奨を差し控えた。令和2年度、3年度は厚生労働省からの通達により、積極的
勧奨は行っていないが、希望すれば定期接種として接種の機会があることを(特に接種期限が迫っている高校1年生に対し個別通知等で)周知を行ったこと
から接種数が増えている。
令和4年度より積極的勧奨を再開し、中学1年生から高校1年生の女子に対し個別通知を行う。また、積極的勧奨を差し控えた期間に、定期接種の機会を逃
した、平成9年度から平成17年度に生まれた女性に対し、令和4年度から令和6年度までの間、定期接種として接種が可能となる。

(2) 高齢者インフルエンザ予防接種

年度	区分	厚生労働省令で定める 60歳～64歳 ※	65歳以上	合計
		R2 (注)	予定者数	27
	接種者数	21	14,714	14,735
	接種率	77.8%	64.7%	64.7%
R3	予定者数	39	22,755	22,783
	接種者数	22	12,409	12,431
	接種率	56.4%	54.5%	54.6%
R4 (注)	予定者数	45	22,828	22,873
	接種者数	23	13,609	13,632
	接種率	51.1%	59.6%	59.6%

(人)

※ 接種当日60～65歳未満の方で、心臓・腎臓・もしくは呼吸器の機能に事故の身辺の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者

(注)令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大及び予防接種費用の全員無償化により接種者数大幅に増加

(3) 高齢者肺炎球菌予防接種

年度	区分	合計
		R2
	接種者数	854
	接種率	26.8%
R3	対象者通知送付数	3,161
	接種者数	674
	接種率	21.3%
R4	対象者通知送付数	3,127
	接種者数	671
	接種率	21.5%

(人)

平成26度より定期予防接種となる。

(4) 風しんワクチン等接種費用助成事業

年度	種類	麻しん風しん	風しん単独
R2	接種者数	78	0
R3		77	2
R4		65	8

(人)

【対象者】

①妊娠を希望する女性②妊娠を希望する女性の配偶者③妊娠している女性の配偶者

(5) 第5期風しんワクチン等接種費用助成事業

年度	種類	抗体検査	麻しん風しん
R2	接種者数	1901	393
R3		733	156
R4		285	56

(人)

【対象者】

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

令和5年度 保健予防事業実施内容

① 健康増進事業

項目	対象者	実施人(回)数	実施時期	実施方法	
健康教育	主に40歳以上64歳以下	50回、被指導延人員:2,000人	通年	保健センター等で健康・生活習慣病教室等を開催	
健康相談	主に40歳以上64歳以下	20回、被指導延人員:500人	通年	保健センター等	
健 康 診 査	ハツラツ健診	個別検診 50人	5月～2月	委託医療機関(32機関)	
	さわやか健診	個別検診 50人	5月～2月	委託医療機関(34機関)	
	訪問健康診査	個別検診 2人	5月～2月	委託医療機関医師により実施	
	胃がん検診	集団検診 1,200人	17回	保健センター16回、山手地区公民館1回、検診車により実施	
	肺がん検診	40歳以上	集団検診 1,600人	17回	保健センター16回、山手地区公民館1回、検診車により実施
			個別検診 400人	5月～2月	市立貝塚病院
	子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢の女性	集団検診 800人	25回	①保健センター24回②山手地区公民館1回
			個別検診 1,900人	通年	③委託医療機関(14機関)
	乳がん検診	30歳以上の女性(40歳以上は偶数年齢)	集団検診 1,000人	26回	①保健センター25回 ②山手地区公民館1回
			個別検診 1,350人	通年	③委託医療機関(7機関)
	大腸がん検診	40歳以上	集団検診 1,500人	17回	保健センター16回、山手地区公民館1回、検診車により実施
			個別検診 3400人	5月～2月	②委託医療機関(34機関)
	結核検診	40歳以上	集団検診 1,600人	5月～2月	①検診会場等で実施
個別検診 5,100人			②委託医療機関(27機関)		
歯科健康診査	40歳以上及び妊婦	個別検診 400人	5月～2月	委託歯科医院(31機関)	
肝炎ウィルス検査	40歳以上	個別検診 280人	5月～2月	委託医療機関(34機関)	
骨粗しょう症検診	30歳以上	集団検診 300人	8回	保健センターで実施	

項 目	対象者	補助金額
医療用ウィッグ購入 費 補助制度	<ul style="list-style-type: none"> ・脱毛の副作用がある抗がん剤治療を現に受けているかた、又は過去に受けたことがあるかたのうち、経過観察中のため交付申請日において通院しているかた ・医療用ウィッグを購入した日から補助金の交付申請日まで、引き続き市の住民基本台帳に記録されているかた 	対象者が負担した補助対象経費の2分の1に相当する額又は1万円のいずれか低い方の額(補助は1回限り)

② 母子保健事業

	対象者	実施 予定者数	実施時期	内 容	
4 か 月 児 健 診	4か月児	440	20回/年	集団指導(※)、身体測定、診察、栄養・母乳・育児相談	
1 歳 7 か 月 児 健 診	1歳7か月児	520	20回/年	集団指導(※)、身体測定、診察、歯科診察、フッ素塗布、発達・心理・栄養・歯科・育児相談	
2 歳 6 か 月 児 歯 科 健 診	2歳6か月児	480	毎 月 (1回)	集団指導(※)、歯科診察、歯科相談、フッ素塗布	
3 歳 6 か 月 児 健 診	3歳6か月児	520	21回/年	集団指導(※)、身体測定、診察、歯科診察、発達・心理・栄養・歯科・育児相談、尿・視聴覚スクリーニング	
すこやか健診	経過観察を必要とする乳幼児	300	毎 月 (1回)	身体測定、診察、発達・心理・栄養・母乳・育児相談	
発 達 相 談	発達に関して心配事のある児と保護者	250	通 年	臨床心理士による相談。	
こ と ば の 相 談	ことばに関して心配事のある児と保護者	20	年5回	言語聴覚士による相談	
妊 婦 健 診	妊 婦	460	通 年	診察、尿検査、血圧測定、血液検査、保健指導等(14回)	
産 婦 健 診	産 婦	460	通 年	診察、尿検査、血圧測定、尿検査、こころの健康チェック(2回)	
乳 児 一 般 健 診	おおむね 乳児期 前期	440	通 年	身体計測、診察、保健指導等	
新生児聴覚検査	生後28日未満	440	通 年	自動ABRまたはOAE受検時の費用補助	
乳児後期健康診査	生後9か月～1歳未満	440	通 年	身体計測、診察、保健指導等	
ママパパ教室	妊婦及びその家族	80	通 年 (年4コース)	1コース2回、赤ちゃん絵本の紹介、妊産婦の栄養の話、赤ちゃんおもちゃの紹介・作製、先輩ママ・赤ちゃんと交流、沐浴実習、パパの妊婦体験	
離乳食講習会	離乳期の乳幼児をもつ保護者	180	前 期(毎月) 後期(年6回)	講義「離乳食の正しい進め方」、メニューの紹介、調理実習、試食	
幼 児 食 講 習 会	離乳食完了から小学校入学前までの幼児とその保護者	60	年6回	幼児食の話、各回テーマにそったメニューの紹介、調理実習	
キッズクッキング	小 学 生	54	4回 (夏休み)	小中学生の調理実習	
赤 ち ゃ ん 相 談	1歳未満の乳児と保護者	300	毎 月 (1回)	身体測定、栄養相談・育児相談・母乳相談・歯科相談	
スキンケア講習会	乳児とその保護者	40	2回	医師によるアレルギーとスキンケアについての講義・スキンケアの実践・医師による個別相談	
母 健 康 手 帳	妊 娠 届 出 者	500	通 年	妊娠から出産、就学前までの母子の健康状態を記録する手帳を交付する。妊娠届出時、フォローの必要な方を把握し支援を開始する。	
経 済 的 支 援	出 産 準 備 助 成	妊婦届を提出し、専門職の面談を受けた妊婦	550	通 年	妊婦1人あたり現金5万円給付
	子 育 て 支 援 助 成	令和4年4月1日以降に出生した子どもの養育者	500		こども1人あたり現金5万円給付
訪 問 係 員 支 援	すくすくママ問	妊娠安定期(妊娠6か月～8か月頃)	400	通 年	妊娠期から切れ目のない支援を行うため、保健師、助産師、看護師が訪問する。
	すくすくベビー問	生後3週間～2か月頃	400		身体計測や市の子育て情報提供を行い、育児等の相談に応じる。必要時、関係機関につなぐ。
母 子 訪 問 ・ 養 育 支 援 訪 問	妊娠期から継続的な支援を要する家庭	200	通 年	個別訪問し、育児相談等をおこなう	
こ ん に ち は 赤 ち ゃ ん 業	生後4か月までの乳児	460	通 年	民生委員・児童委員、主任児童委員などが乳児家庭を全戸訪問し、子育て情報等を提供する	
特 定 不 妊 治 療 助 成	不妊に悩むかたで、大阪府の特定治療支援事業の承認を受けたかた	1	通 年	特定不妊治療を受けているかたで、保険外診療に要した治療のうち府の助成金を控除した自己負担額の一部について一年度あたり8万円を限度に助成。	
不 育 症 治 療 助 成	不育症の診断を受け、不育症治療を受けた方	3	通 年	不育症治療を受けた方で、保険外診療に要した治療費のうち、自己負担分の一部について一年度あたり5万円を限度に助成。	
産 後 ケ ア 事 業	育児支援がなく、心身の不調や育児不安のある産婦とその乳児	30	通 年	産科医療機関に母子ともに滞在し、助産師等の専門スタッフから、からだところ・育児のサポートを受けるための支援。	

(※)感染症の流行状況により、中止する場合があります。

◎令和5年度 保健予防事業実施内容

③ 予防接種事業

種 類	対 象 者
ロタウイルス感染症	①ロタリックスは生後2か月～生後24週まで ②ロタテックは生後2か月～生後32週まで
B型肝炎	生後2か月～1歳の誕生日の前日まで
ヒブ	生後2か月～5歳の誕生日の前日まで
小児用肺炎球菌	
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)	生後2か月～7歳6か月の前日まで
BCG (結核)	1歳の誕生日の前日まで
水痘	1歳～3歳の誕生日の前日まで
第1期 麻しん風しん混合	1歳～2歳の誕生日の前日まで
第2期 麻しん風しん混合	平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれの児
第1期日本脳炎	3歳～7歳6か月の前日まで
第2期日本脳炎	9歳～13歳の誕生日の前日まで
日本脳炎特例	①平成15年4月2日～平成19年4月1日生まれの者で、第1期、第2期の接種が未完了の場合は、20歳の前日までの間、公費での接種が可能。
第2期二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳の誕生日の前日まで
ヒトパピローマウイルス感染症 (HPV)	小学6年生相当の年齢～高校1年生相当の年齢の女子
ヒトパピローマウイルス感染症 (HPV) キャッチアップ接種	平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれの女子 (令和4年度～令和6年度の間)
高齢者インフルエンザ	①接種当日65歳以上の市民②接種当日60～64歳のかたで、心臓・じん臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するかた
高齢者肺炎球菌予防接種	下記①、②のいずれかに該当するかたのうち、今までに肺炎球菌ワクチンを接種したことがないかた ①今年度において、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・100歳のかた ②接種日に60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい等を有する方(身体障がい者手帳1級相当)
風しんワクチン等接種費用助成事業(任意接種)	接種当日、風しんの抗体価が低い市民で、次の①・②・③のいずれかに該当する者。①妊娠を希望する女性。②妊娠を希望する女性の配偶者。③妊娠している女性の配偶者。
第5期風しん追加対策 (風しんの抗体検査及び風しんの第5期定期接種)	対象者:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までに生まれた男性。実施期間:令和7年3月末までの限定措置 内容:対象者については、実施期間中に限り、風しんに係る抗体検査を無料で受けられるとともに、抗体検査の結果、風しんの第5期定期接種の対象となる抗体価に該当する者については、MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)予防接種についても無料で受けられる。無料で抗体検査及び予防接種を受けるためには、必ず、居住市町村が発行する無料クーポン券を実施医療機関等に提出する必要がある。